

2009/9/9、ジェームズクック大学 (Jamescook Univ.,  
オーストラリア・タウンズビル) の  
Dr.Rocky de Nys教授他、4名の方が来所、所内を視察しました。



所長室にて

前列 右から Dr.Nys, Dr.Paul, 養殖業者の方, Dr.Ireland

後列 右 琉大瀬底実験所 井口さん、裁セ 金城



栽培漁業センターの概要を説明中



概要説明中にもいろいろと質問して頂きました。  
また、ご自身の研究についての紹介もありました。



種苗生産水槽を視察中。でも、オフシーズンで水槽は  
空っぽです。

水槽底の白黒ラインを見て、これは何だとの質問。  
掃除ロボットの走行コースだと答えると、Great!



ナンノ培養水槽上で…。

カメラを向けると、自分のカメラを向け返す Dr.Nys。

茶目っ気たっぷりの楽しい先生です。

手前は、琉大 井口氏



海面生簀にて

手前が、Dr.Nysです。



左から、Dr.Ireland と Dr. Paul



手前、Dr. Nys と 養殖業者さん、  
この養殖業者さんは、  
バラマンディー (Barramundi, *Lates calcarifer*)  
養殖をしているそうです。



クインズランドのグレートバリアリーフ周辺は、海面生簀の設置が  
禁止されているそうです。  
沖縄は、クインズランドと似ているのに、何故、生簀の設置が  
禁止されていないのか との質問がありました。  
なぜ、と言われても……。  
そのため、陸上の養殖、とりわけ、ゼロ・エミッションを目指した  
養殖システムの開発研究が盛んということです。



ヤイトハタの親魚水槽で



シラヒゲウニの中間育成水槽で  
Dr. Paul は、ウニの研究をしているとか、



大汗をかきながら、熱心に写真撮影。



汗だくで視察を続行中。



ヒメジャコの水槽で質問。  
岩井主任研究員(左)が、  
流暢な英語(日本語??)で  
説明中です。



ヒメジャコの稚貝(数ミリ)を観察中

約2時間半におよぶ視察でしたが、  
案内した方も大変楽しみました。  
とても、陽気で、楽しく、  
それでいて、とても気配りされるDr.Nys 一行でした。